

『命の山王』

No. 9 [2018年 6月 6日(水)]

言葉の大切さ

私たちは毎日たくさんの人と会話していて、同時に多くの言葉を使っています。その数は年齢とともに増えていくはずですが、特に学生時代は、会話を自然に求められることが多く、コミュニケーション能力が養われるのも、この時期だと思います。

以前から感じていることですが、昔に比べて現代の若者たちは、使う言葉の種類がどんどん少なくなっているように思います。そんな中で、よく耳にする言葉は「ヤバイ」「意味分からない」などがあります。

「ヤバイ」という言葉は、以前は「よくないこと」または「たいへん困ったこと」などの時に使っていました。しかし、現在は、面白いことやかなり驚いた時にも使われるようになってきました。むしろ最近ではそちらの方が多く使われているのかもしれませんが。一方「意味分からない」は、自分の考えに合わない意見に対して、あまりにも簡単に使ってしまうように思えます。違う意見があるから、発展もあるはずですが。

これらの言葉を使ってはいけない、と言っているのではありません。もっとたくさんの種類の言葉を使うべきだと言いたいのです。それも、人に対して優しい言葉や何か嬉しいことを感じさせる言葉、または生きるための勇気につながる言葉を、できるだけたくさん使うべきなのではないでしょうか。逆に周りの人たちに対して、冷たい言葉やきつい言葉ばかり使っている人は、今のうちに改めるべきだと思うのです。

私の幼少時、NHKで「ひょっこりひょうたん島」という人形劇を、毎日の夕方に放映していました。毎週ではなく、毎日でした。しかも、録画ではなく生放送で人形劇をやっていたということなのですが、今の時代から考えると信じられないことです。そのテーマ曲の歌詞の中には次のような言葉がありました。

丸い地球の水平線に 何かがきっと待っている
苦しいこともあるだろさ 悲しいこともあるだろさ
だけどぼくらはくじけない 泣くのはいやだ 笑っちゃおう

これを毎日聞いて少年時代を過ごした私は、この言葉のエネルギーと前向きな考えがいつの間にか身に付いてしまったように思います。だからこそ、使う言葉は豊かで優しさと力にあふれている方がよい、と私は思うのです。(裏面に「アンパンマンのマーチ」の歌詞も掲載しました。子ども向けのアニメのテーマ曲なのですが、その歌詞の意味は実に深いものがあります。ぜひ読んでみてください。)

〔生徒指導主事：木内記〕

中総体開会式について

6/16～18の3日間は各部および応援団ごとの行動となります。これから出される連絡を十分にご確認ください。また、6/16(土)の中総体一日目の朝は総合開会式が予定されています。会場の八橋陸上競技場周辺は大混雑となりますので、以下の点に配慮をお願いします。

陸上競技場周辺にはなるべく近づかず、ある程度のところで生徒を降ろして徒歩に切り替えてください。(正面から行く場合は山王大通りで下ろしてください。)

熱中症対策を！

今週に入り、一気に気温が上昇してきました。まるで衣替えの完全実施を待っていたかのようです。

先週もお知らせしましたが、暑い日は半袖の着用をお願いします。また、山王中では熱中症対策として、飲み物持参も許可していますので、水筒の準備もよろしくをお願いします。暑さに慣れるまで注意が必要です。

「アンパンマンのマーチ」

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも

何の為に生まれて 何をして生きるのか
答えられないなんて そんなのは嫌だ！
今を生きること 熱いところ燃える
だから君は行くんだ微笑んで。

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも。

嗚呼アンパンマン優しい君は
行け！皆の夢守る為

何が君の幸せ 何をして喜び
解らないまま終わる そんなのは嫌だ！

忘れないで夢を 零さないで涙
だから君は飛ぶんだ何処までも

そうだ！恐れなくてみんなの為に
愛と勇気だけが友達さ

嗚呼アンパンマン優しい君は
行け！皆の夢守る為

時は早く過ぎる 光る星は消える
だから君は行くんだ微笑んで

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び
たとえどんな敵が相手でも

嗚呼アンパンマン優しい君は
行け！皆の夢守る為